

小美玉市公共施設等総合管理計画(改訂版)及び小美玉市公共施設建築物系個別施設計画(案)

○パブリックコメント集計結果一覧表

1. 意見提出者数 276人

提出方法	人数
電子申請	2
郵便	1
ファクシミリ	18
電子メール	0
直接持参	255
合計	276

2. 意見内容及び市の考え方

NO	意見の対象箇所	意見内容	意見数	市の考え方(回答)
1	計画全般	<p>江戸時代、東北の米沢藩の藩主・上杉鷹山公は、破綻しかかっていた藩財政を立て直すために、士族から初めて一般民衆に至るまで、質素儉約、殖産興業を勧めました。藩主自ら身をもって示し、民衆はそれに倣ったと言います。そして、見事藩財政を立て直しました。現代風に言えば、倒産しかかっていた企業を黒字企業に変えたということでしょう。これを評価したアメリカ35代大統領のJ・F・ケネディーは、その就任の際、「尊敬する日本人は？」と尋ねた日本人記者に、「ヨウザン・ウエスギ」と答えたということです。</p> <p>人口減少、超高齢化社会に世界に類を見ない速度で突き進んでいるわが日本において、従来然とした政策と周囲の目を気遣う決め方では、日本は、そして何よりも地方都市が破綻に向かうのは火を見るよりも明らかです。こういう時期だからこそ、イケイケドンドンの高度成長時期とは異なる、冷徹な観察と分析で計画が立てられ、実行されることを望むものです。</p> <p>そのためには、市も身を切る覚悟の計画立案が必須で、市民も犠牲をもってそれに応える厳しい協力こそ求められると信じます。</p> <p>今回、市の『公共施設等総合管理計画案』(以後、計画案 と記載)の40年計画を見せていただき、その方向性が的を得ていると理解し、受け止めました。</p> <p>美野里、小川、玉里の三町村合併以来、それぞれのハコモノがもつ施設が重複し、かつ有効な用い方とは必ずしも言い切れない状況を何とかできないかと思っていました。加えて、少子高齢化。義務教育校が昔の必要のままに維持され、厳しい言い方をすれば、山間の分校的な人数を大きな建物で担っていて、しかも校舎は老朽化している状況も、何か手はないものかと思っていました。</p> <p>健全な人口分布では、15歳以下が人口比25～30%と聞いていましたが、今や小美玉市は10%目前、15～64歳の生産人口が60%弱となっていて、今後も減少が見込まれています。逆に65歳以上の高齢者が30%を超え、さらに比率の増加が見込まれます。当然市の財政収入の減少も見込まれるわけですので、長い目で見ながら、市民生活を維持する手を次々と打っていただきたいものです。</p> <p>今回の計画案では、今ある公共施設に対し、老朽化した設備の見直しや維持、適正配置がなされ、今後とも継続的な計画の見直しと市民・民間事業者との協働がなされるという、誠に時宜にかなった計画です。これを肅々と、ある時は厳しく進めることにより、本当の意味での市民生活の守りにつながると考えます。ぜひともこの計画が強固に推し進められ、市民が豊かで喜びにあふれ、安全な街として末永く存続することを願うものです。</p> <p>本計画案に深く賛同して筆をおきます。</p>	1	<p>現時点での将来推計人口、財政状況等を踏まえ、今後の小美玉市の市政運営は、厳しい状況が想定されます。</p> <p>本計画では、その解決策の1つとして、「40年をかけて公共施設の延床面積を30%削減する。」という目標を掲げ、施設ごとに方向性や考え方、対策の優先順位等をまとめています。</p> <p>計画を整理していくうえでは、有識者や市民の方で構成された「小美玉市公共施設等マネジメント推進委員会」を条例に基づいて設置し、専門的な助言を交えたご意見をうかがいながら進めてまいりました。</p> <p>本計画において、解体や集約化等を行うことで面積削減の対象と位置付けた施設を、建て替えや修繕等を行うことにより、存続させるといった変更が生じた場合には、削減できなかった面積について別施設で対応する計画を提示しなければならない可能性があります。その理由としましては、将来にわたって健全な市政運営を図っていくために掲げた「延床面積30%削減」という目標が、25%、20%になってしまい、本来の目的が達成できなくなってしまうからです。</p> <p>現時点における本市の状況を踏まえ、削減目標を30%よりも低く設定するには、急激な人口の増加や財政状況の好転が必須条件です。個々の施設計画に対する賛成反対は、あつてしかるべきですが、本計画を推進していくうえでは、市が所有する公共施設を全体で考える必要があります。</p> <p>施設の再編を実行に移す段階においては、社会情勢等を考慮するとともに、市民の皆さまと十分意見を交わしたうえで計画を推進していきたいと考えております。また、本計画策定後も、進捗状況や社会的要請、ニーズの変化に応じて適宜フォローアップを行い、その結果を踏まえて、5年ごとに計画の見直しを行います。</p>

NO	意見の対象箇所	意見内容	意見数	市の考え方(回答)	
2	計画全般	計画について概ね賛成です。老朽化が進み、使用頻度が少なく、将来的にも利用者が 増える見込みの無い施設は、予算の範囲内で早急に閉鎖・解体される事を希望します。 又、その候補施設で借地がある場合には、それを優先的に実施するべきかと考えます。	1	いただいたご意見は、参考にさせていただきます。 個別の計画を推進していくうえでは、市民の皆さまや施設を利用されている方々に 対しても丁寧に周知・説明を行い、行政サービスの提供に支障をきたすことがないよ う努めてまいります。 また、本計画策定後も、進捗状況や社会的要請、ニーズの変化に応じて適宜フォ ローアップを行い、その結果を踏まえて、5年ごとに計画の見直しを行います。	
3		この計画は是非進めるべき案件だと思う。 この計画個別の施設等に関しては、近隣の住民に説明等して計画を進めて行けばど うか。今ある施設を使用し、古く耐震設備が無い物は、無くしても良いのでは。	1		
4		新しい「小美玉市公共施設等総合管理計画案」を見させていただきました。そして、心 からこの計画に賛同し、緻密に押し進められるようにお願い申し上げます。 小中学校の統合や幼稚園の統廃合など、痛みが伴う面もございますが全国的な少子 高齢化、労働人口の減少などを考えると、痛みを避けて通ることはできないですね。一 時は大変なことが予想されますが将来を考えて必要なことですね。施設の老朽化も大変 な問題です。高齢化が進んでいるので、市の施設のトイレ・エスカレーターやエレベ ーター等、徐々に直して下さっていますが、高齢者や体の弱い方々も市民の活動の幅が 広がられていくような方向へと進むようにこれからもよろしく願いいたします。 世の中は変わりやすいものです。継続的な計画の見直しもしていただけるとあり安心 しております。どうぞよろしくお願い申し上げます。	1		
5		ご計画を賛成します。	2		
6		計画が順調にスムーズに進むように、賛成したいです。市長をはじめとし、今、行政に 携わっておられる職員の方々に応援します。	1		
7		計画に賛同します。良い小美玉市になるように励んで下さっているご労に感謝します。	1		
8		計画が順調に進むように協力いたします。若い夫婦が小美玉市に来て住みたいと思 うような工夫が要ると思います。たとえば、空き家などの利用プランとか。よろしく お願いいたします。	1		
9		P1 2.計画の位置づけ(1) [計画は具体的な行動計画である] 本来の計画行政系としては、基本計画 実施計画 実行計画(行動計画)と言う計画の 性質的体系的な整理が行われてあるはずであることからすると、今回の公共施設建築 物系個別計画は最終的な実行段階での計画なのか。 令和2年12月定例会での教育部長の答弁 選択肢の1つは認識が違うのではない か?。選択肢の1つということであればそれを含めてそれを含めて行動計画に示すべき ではないか口先だけで選択肢の1つといわれても信じがたいし、市民を愚弄している のではないか。 P1 2.計画の位置づけ(2) それぞれの施設所管課において十分に検討した上で整理したものなのか?それぞれの 施設所管課で十分に検討したとのことだが、その記録はあるのか?	1		個別施設計画は、上位計画である「総合管理計画改訂版」に基づき、個別施設ご との具体的な対応方針を定める計画として提示するものです。「総合管理計画改訂版」 の策定にあたって整理した劣化状況や、それに基づく長期の整備費用、将来を見据 えた段階的な再編の方向性を踏まえ、今後40年間の方向性を定めております。 選択肢の1つであるという答弁についてですが、本計画の目標である40年をかけて 公共施設の延床面積を30%削減するためには、教育、福祉、文化、その他様々な公 共施設を聖域なく全体で考えた場合、学校施設の統廃合も選択肢の1つであるとい う趣旨になります。 次に、本計画の策定経過についてですが、市長を本部長とする「小美玉市公共施設 等総合管理計画推進本部」において全庁的に取り組んでまいりました。本部内には、 調査・研究・検討を行うために、主に施設を所管する部署の課長補佐・係長級の実務 担当者で組織する検討会議を設置し、有識者や市民の方で構成された「小美玉市公 共施設等マネジメント推進委員会」による専門的な助言を交えたご意見等を伺いな がら検討を進めてまいりました。

NO	意見の対象箇所	意見内容	意見数	市の考え方(回答)
10	計画全般	<p>合併効果の早期具現化について 小美玉市は、合併して10年以上経過しており、具体的な合併効果を今回策定する公共施設計画の中で示すべきである。長期的な計画であれば、なおさら、この時点で将来目標を示すべきである。</p> <p>特に、今後デジタル化が社会全般に進展することから見て、それらをふまえた積極的な目標を示すべきである。課題の先送りではなく、いつまでに、何をやるか、目標と期限を示し、そのような意思を示さないと、「時の流れに身を任せる」成り行き任せの計画になりかねず、いつまでたっても合併効果が実現できないことを危惧します。</p> <p>特に、これからの10年がそれを行うときであり、合併によって重複している行政関連施設について十分な検証を行い、重点的に見直し検討、再編を行い、この計画の中で、合併効果の早期実現に向けた市の強い意思表示されることを期待します(現在、多くの施設が、合併以前の状態で存続しているように思われるので、これらを見直しを徹底して実施されたい)。</p> <p>それが合併の最終目標であり、今回の「公共施設計画」の最大の課題であることを認識され、そのような観点から、優先順位に配慮し、対象および目標を設定されたい。(行政施設と同列で財政的な効率性から、小学校の統廃合を論ずるべきではなく、羽鳥、納場両小学校の統合は急ぐべき問題とは思われない。)</p> <p>例えば</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小川、玉里総合支所の業務については、それぞれの文化センター(当分、これらの文化センターは存続させるということなので)内に縮小、併設し、事務的な業務を移管し簡素化する、旧庁舎は廃止する。 ・住民に身近な福祉・健康等の分野については、高齢社会に対応し旧町村単位に集約しワンストップ化し、分かりやすい体制整備を期待する。 ・消防部門については、機動力の向上、常備消防の充実、消防団員の減少等地域の変化に対応し、体制の見直し、再編を行うなど、将来像を示すべきである。多くのところで、手押しポンプ時代の施設が残っているようなものがあるように思われるので、安全安心な地域社会の実現に向け、消防力の強化を基本に、長期的な視点で、それらの3割については削減を行うなどの目標を示すべきである。 ・地域の公民館、集会施設等については、地域社会の変化、地域住民の利便性に十分配慮した上で、住民の合意を基本として再編整備を進める必要がある。それについても3割削減の目標を掲げるべきであろう。 	1	<p>過去に建設された公共施設等がこれから大量に更新時期を迎える一方で、地方公共団体の財政は、依然として厳しい状況にあることや、人口減少等により、今後の公共施設等の利用需要が変化していくことから、施設全体の最適化を図り、施設の現状や施設全体の管理に関する基本的な方針を定める必要がございます。そのため、ハード面やソフト面等、様々な角度から実態と課題を整理し、本計画では「今後40年間で延床面積30%削減」という数値目標を掲げ、施設総量の抑制を図っていくこととしております。</p> <p>本計画の推進及び情報管理・共有に向けては、市長を本部長とする「公共施設等総合管理計画推進本部」を設置し、全庁的な取組体制の構築を図っておりますので、本計画策定後も進行管理をしていくうえで、5年ごとに個別施設計画の進捗状況を検証し、必要に応じて改善・見直しを図りながら計画を推進してまいりたいと考えております。</p> <p>また、いただいたご意見については、計画を推進していくうえで参考にさせていただきます。</p>
11	建築物系個別施設計画(案) 第3章 施設類型ごとの個別施設計画 (4)その他集会施設 (10)公民館	<p>羽鳥駅東口複合施設(羽鳥学区コミュニティセンター)の整備について 羽鳥公民館は老朽化しており、また羽鳥学区全体における地域活動の拠点として、羽鳥駅東の市有地に羽鳥学区コミュニティセンターを整備することには賛成である。</p> <p>当地区は住民が増加してきているが、これらの受け皿となる住民の交流、活動の中心となる拠点施設がないため、活動の活性化が図られていないことが、羽鳥地区の大きな課題となっている。</p> <p>特に、日常の文化活動の場がないため、拠点となる施設の整備が待たれてきたところである。</p> <p>羽鳥公民館、ふれあいセンターの機能を移管集約し、集会室、会合室、実習施設、図書館等の機能を有する地域住民のための複合施設の整備を要望する。(羽鳥駅東の市有地は、羽鳥学区の住民の大半が徒歩で利用可能な位置にあり、特別の駐車場を設ける必要もなく、利便性の高い、学区全体にとって中心的位置にあり早期整備を要望する。)</p>	1	<p>2施設とも類似施設を保有しておりますが、集会施設としての利用が少ない状況であります。駅前に複合施設を整備し集約化することで、重複機能を解消し、機能は維持しながら新たな駅前拠点としてよりよい施設が整備できればと考えております。</p> <p>実際に、施設の再編を実行に移す段階においては、社会情勢の変化や地域の課題及び市民のニーズ等を踏まえる必要があるため、施設利用者をはじめとした市民の皆さまに対し、丁寧な説明や意見聴取に努めてまいります。</p>

NO	意見の対象箇所	意見内容	意見数	市の考え方(回答)
12	建築物系個別施設計画(案) 第3章 施設類型ごとの個別施設計画 (4)その他集会施設 (10)公民館	羽鳥公民館の老朽化とふれあいセンターの使用が少ないので東口への移転をしたいとの考えですが現在の都市計画を考えているのですか?現在は人が集まり、それを利用するのになぜ東口なのですか?もう少し将来の都市計画を描き人の動きを研究し、住民が利用するにはどうしたら良いかを考えてほしい。地方都市は人口増加が望めないので駅の利用は伸びないと思います。新複合施設は東口駅前より、駐車場も広く完備した場所の方が老人や女性にベストと思います。	1	いただいたご意見は参考にさせていただきます。本計画策定後も、進捗状況や社会的要請、ニーズの変化に応じて適宜フォローアップを行い、その結果を踏まえて、5年ごとに計画の見直しを行います。
13		第三章2.(10) 公民館 羽鳥公民館は羽鳥駅東口複合施設へ機能移転と計画(案)に示されているが、当該公民館は、駅前区、羽鳥区で地域の行事の中核的役割を果たしている(敬老会等)。仮にこれが、計画(案)通り移転となると、計画(案)にある複合施設の計画の内容によるが、従来通りの機能が維持されるのかどうか?疑問に思う。地域の意見を反映した計画作成に当たって欲しい。	1	
14		羽鳥公民館、羽鳥ふれあいセンターの取壊しに反対する。羽鳥学区等の大切なコミュニティ活動場所を失くすな。	5	
15		羽鳥公民館、羽鳥ふれあいセンターの取りこわしには反対です。公民館が無くなると地元コミュニティの活動できなくなってしまう。	1	
16		羽鳥公民館、羽鳥ふれあいセンターの取壊しに反対する。羽鳥学区等の大切なコミュニティ活動場所を失くす理由はない。羽鳥公民館、羽鳥ふれあいセンターの取壊しに反対する。市は、羽鳥駅周辺整備を行うと言いながら、取壊しとは疑問。又、羽鳥駅西側の人口から見ても集約する理由はない。	2	
17		羽鳥公民館、羽鳥ふれあいセンターの取壊しに反対する。公民館がなくなると、地元のコミュニティ活動が出来ない。各地区(近くに)にあった方が使い勝手が良い。羽鳥駅中心とすれば駅なかにふれあいセンターの業務を、移動できたはず。わざわざ取壊し必要なし。	1	
18		羽鳥公民館、羽鳥ふれあいセンターの取壊しに反対する。夜に地元の会議を使おうとしてもとれない日が多いのになぜ取り壊しするの。	4	
19		羽鳥公民館、羽鳥ふれあいセンターの取壊しに反対する。市は、羽鳥駅周辺整備を行うと言いながら取壊しとは疑問。	1	
20		羽鳥公民館等の取こわしに反対する。コミュニティ活動が出来ない。	3	
21		羽鳥公民館は地区にとっては、羽鳥ふれあいセンターと同じように大切な所となっています。とりこわす事は、大変迷惑です。	1	
22	区民の集まる所がなくなる。	1		
23	羽鳥区学区の大切なコミュニティの活動場所をなくさないでほしい。	1		

NO	意見の対象箇所	意見内容	意見数	市の考え方(回答)
24		羽鳥小学校と納場小学校の統合は賛成・羽鳥小学校の通学路は、歩道の整備もされていない。又、国道も交通量が多いので、統合を行い、スクールバス通学ならば安心です。	1	<p>いただいたご意見は、参考にさせていただきます。</p> <p>学校の整備は、より良い教育環境を目指すための重要な取り組みとなります。一方、本計画のとおり、将来にわたって健全な市政運営を図っていくためには、学校を含む現状の市施設を一定規模で削減することが必要となっております。</p> <p>今後、教育環境の向上を第一とした取り組みを進めるうえでは、本計画に沿ったものとする必要があること、また、学校の整備方法については、社会情勢や将来的な教育施策の動向にあわせて地域の実情を踏まえる等、更なる検討もしてまいります。</p>
25		2校の統合により、教育環境や生活環境などが整備されることは賛成です。ただし、それに伴い、生じるであろう検討事項をしっかりと議論していただきたい。例えば、遠距離地域の通学方法。学校区が広範囲になるため、地域との関係性が希薄になることが懸念される。	1	
26		地域の方々に新1年生が学校生活に慣れるまでの短時間、子育てサポーターとして雑多のお手伝いをお願いしたらどうでしょうか。防犯上限られた人しか対応できないので研修などがあればと思います。(料金は低料金、自己負担で)。研修は受講者自身の教養や身に付くものとなるから、参加者多数になれば子育てがしやすい良い街に繋がるかと思えます。	1	
27		将来人口減に伴い20年後には小学生も当然減ると思うし、又、今合併し施設の充実化を計っている市町村も見受けられる。大谷区は現小学校までの距離があるため合併してスクールバスでの通学が望ましいと考える。したがって施設等総合管理計画(案)には賛成である。	1	
28		建築物系個別施設計画(案) 第3章 施設類型ごとの個別施設計画 (12)小学校・中学校	<p>3施設類型別基本方針 美野里地区の小学校は地域の拠点施設とするとはっきりと方針が示されながら、小美玉市内でも人口数の多い地域である羽鳥地域と納場地域の拠点施設となるべき小学校を統合するとはいかなる経緯で決定されたのか。 羽鳥地域と納場地域を1つとするような地域計画があるのか。 誰が、どこで、いつその計画を立案したのか。そして今回の行動計画とされたのか。 基本方針[拠点施設とする]と[羽鳥小学校と納場小学校を統合建替える]は完全に矛盾していないか。 美野里地区には堅倉小学校、竹原小学校、羽鳥・納場統合小学校の3地域とする総合計画であるのか。 現在の児童数を見ても186人や267人の小学校を地域拠点化する計画と451人と241人の小学校を統合させる計画の根拠は何か。 羽鳥地域、納場地域を現実的にみて、令和2年12月定例会での教育部長答弁[小川地域、玉里地域同様の...]との検討の原点の違いがあるはずである。児童数の減少が著しい地域と同じ計画とは笑止千万である。</p>	
29		<p>私は、「羽鳥小学校・納場小学校の統合」の改善案について以下の内容で反対する。小美玉市の未来に影響することであり議員側が独断で決定すべきではない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・羽鳥は過疎地区ではない。平成18年より令和2年の羽鳥の人口及び児童数は旧美野里町の中でも一番増加している。児童の動向を全く把握していない。羽鳥駅もあり交通の便や病院、スーパー設置数などから今後も増加すると思われる。子孫繁栄や地域定着することを期待すれば安全に小学校へ通学できる場所は要因から外すことはできない。小美玉市の税収にも影響する。また、少子化問題が大きく騒がれている中、子供達を地域全体で育てるために児童数が多い羽鳥小学校を廃校とは論外である。 ・小学生低学年でも安全に徒歩で通学できる適正な配置は現在の場所である。コロナウィルスだけでなく、今後新たな感染症や予期せぬ災害を考えるべきである。バスは密閉、料金もかかる。いつも決まった時間に通学できる児童ばかりではない。親としての役割を果たせる親ばかりではない。通学距離が遠くなれば多くの児童が危険にさらされる。また災害時、地域の避難所にもなっている安全に避難できる施設確保はどうなるのか。羽鳥住民の安全を考えていない。 	1	<p>羽鳥小学校の校舎は、一部を除き、築50年以上が経過し、老朽化が課題となっております。また、敷地が狭く拡張は困難な状態となっております。</p> <p>このような課題がある中で、羽鳥小学校の建て替えを検討する際には、移転による新築も選択肢のひとつと考えております。</p> <p>さらに、市全体の学校のより良い教育環境を目指す上では、納場小学校の校舎も概ね築40年が経過していることから老朽となっているため、両学校を一体として整備することも有効な方法と考えられます。</p> <p>学校の整備については、教育環境の向上を第一とし、社会情勢や教育施策の動向とあわせて地域の実情等も踏まえるとともに、市民の皆さまの声にも耳を傾けながら丁寧な説明に努めてまいります。</p>

NO	意見の対象箇所	意見内容	意見数	市の考え方(回答)
30		羽鳥小学校、納場小学校の統合・解体し、建替えとなる場合、場所はどこにするのか？羽鳥小と納場小の中間地点に建て替えとなっても羽鳥と納場との人口割合などを考え、また、これからの土地買収や建設費用を考えた場合、現在ある羽鳥小は、体育館の建替えを行ったばかりなので、校舎を運動場に建替え、納場の子供達を通学バスで登校させた方が良いのではないかと。2045年までに人口が28.0%減少、0～14歳の人口予測も現在の半分以下。65歳以上は41%になり、生産性も税収も減少するのに、税金を無駄に使用するのはどうなのでしょう。住民説明をして頂きたい。	1	羽鳥小学校の校舎は、一部を除き、築50年以上が経過し、老朽化が課題となっております。また、敷地が狭く拡張は困難な状態となっております。このような課題がある中で、羽鳥小学校の建て替えを検討する際には、移転による新築も選択肢のひとつと考えております。さらに、市全体の学校のより良い教育環境を目指す上では、納場小学校の校舎も概ね築40年が経過していることから老朽となっているため、両学校を一体として整備することも有効な方法と考えられます。学校の整備については、教育環境の向上を第一とし、社会情勢や教育施策の動向とあわせて地域の実情等も踏まえるとともに、市民の皆さまの声にも耳を傾けながら丁寧な説明に努めてまいります。
31		1.羽鳥、納場の両小学校共、100年を遥かに超える歴史を持っている。小学校は学区内住民にとって心の拠り所であり、地域コミュニティの絆としての役割を果たしている。それが故に、学区内住民は小学校を支える為の努力を惜しまなかった。それを、経済的側面を殊更に重視し、両校統合を図る案には賛成し兼ねます。 2.両校統合により、児童数は堅倉小の約3倍、竹原小の約4倍になる。キメ細かな児童教育が難しくなり、教職員の負担増、児童の送迎、旧校の跡地利用等の問題も出てくる。建築年をみると羽鳥小が1968年納場小が1976年と、堅倉小(2011年)、竹原小(2014年)よりは50年近くも古い。だからと言って、統合小の敷地を新たに求めそこに新校舎を建てることは、それこそ、膨大な費用がかかるのではないかと。羽鳥小、納場小を同時期に建替える必要は全くなく、現敷地で老朽化が著しい順に建て替えすれば良いのではないかと。いずれにしても、両校統合については単なるそらばん勘定でなく、両学区住民の意見を十分聞いた上で進めて頂きたい。	1	
32	建築物系個別施設計画(案) 第3章 施設類型ごとの個別施設計画	羽鳥小学校と納場小学校の統合には反対する。 ・児童数の多い学校どうしをなぜ統合するのか。 ・国の政策に逆行するのではないかと。堅倉小学校、竹原小学校へは忖度があるのか。 ・マンモス小学校を作り美野里中学校と同じ道をふむのでしょうか。 ・住民説明会等がないのはなぜ？	1	
33	(12)小学校・中学校	羽鳥、納場小学校の統合建て替え(案)について まず住民への説明もなく統合建て替え(案)が出ていることについて不満と不安が残ります。付近の他の小学校と比べ児童の数も多く、最近では歩道の拡張整備を行ったおかげで安全に通えるようになっています。昨今はコロナなどもあり人数を増やすことは得策ではなく、さらに学校などの災害地に拠点とできる場所を統合により減らすのはありえないことです。そのような場所をわざわざ変え、統合を行う理由があるとは思えません。そして理由があったとしても、案とはいえ住民に対し事前の詳しい説明もせずにそのような計画が出ていることに強い不信感が募ります。このような説明もない、将来的にマイナス要素しかない計画には反対です。 ・このような大事なことを、住民に説明することなく進めようとすることは理解できない。案を白紙に戻し、羽鳥小学校は現在地で建て替えるべきである。 ・市内で最も児童数も多く、また将来も大きく減少することもない羽鳥小学校を、なぜ統合する必要があるのか。児童にとっても現在地での建て替えが望ましいことである。 ・堅倉、竹原と同様に、現在地で建て替えるべきです。 ・児童数が最も多い羽鳥小学校を統合して、大規模な学校にする理由、必要性を理解できない。この案には反対です。 ・なぜ統合するのか、住民にまず説明すべきで、一方的に進めようとするのが理解できない。統合案には反対です。 ・2つの小学校を統合して、どのような学校にするのか、まず説明すべきです。このような統合案には反対です。 ・学校の適正規模、適正配置から見ても、理解できない。児童が徒歩で通学できることが望ましい。この案には反対です。	1	

NO	意見の対象箇所	意見内容	意見数	市の考え方(回答)
34		<p>①総務省からの今後の学校のあり方として統合合併を視野に入れて(人口減少)との方針であるとの事。</p> <p>②小美玉市も羽鳥小、納場小の総合を検討の市執行部と一部議会議員の役員にて上記問題を先取りして討議するのはいかがだと思います。通学の足に小学校1年～6年迄、バス通学にするとの事。永遠に費用が継続するの将来に大きな禍根を残します。小学校の設置地は半径2k～3.5K程度がベターです。という事は通学により体力増進、友人間のコミュニケーションが深まり、生きた教科書です。もし新設学校の全体像は、国、県、市の補助であっても次世代の負担が引き継がれます。羽鳥小学校4～5年前に耐震工事等実施して安全です。たしかに現一部プレバブ教室を使用しているの問題です。</p> <p>今後羽鳥小の児童数就学率も(今現点2～3年が上昇)7～10年後は徐々に減少になって行くと推計します。これだけの大きな問題を一部執行部等のみで議論で先取りするのは非常に問題が発生します。関係者(羽鳥小、納場小)の住民の民意を問う。地区毎の区会館等で意見を出し合ってもらおう等あります。最終的に直接羽鳥・納場他の住民投票も一つの手段です。最後羽鳥小学校の敷地の拡張も検討するのも良いと思います。一部地権者との話し合いも検討の一手段です(費用も少なくて済)</p> <p>次にこの件については見守って連絡して問題提起していきます 以上。</p> <p>追伸、市広報誌等でもっと、もっと小美玉市民に知らせるべきです。</p>	1	
35	<p>建築物系個別施設計画(案)</p> <p>第3章 施設類型ごとの個別施設計画</p> <p>(12)小学校・中学校</p>	<p>羽鳥小学校に関して 施設の老朽化を踏まえても、なぜ「統合」の対象となるのか、建て替えでは済まないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の3つの小学校と比べても生徒数は群を抜いて多い。 ・児童数の推移を見てもここ10年で増えている。 ・分譲地も増えている様に見受けられるが、児童数の更なる増加も見込まれるのではないか。 <p>統合した場合の登下校方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一番考えられるのがバスの利用であるが台数確保は可能なのか ・登下校に有する時間差はないのか ・乗降時の安全対策は？(つきそいなど) 	1	<p>羽鳥小学校の校舎は、一部を除き、築50年以上が経過し、老朽化が課題となっております。また、敷地が狭く拡張は困難な状態となっております。</p> <p>このような課題がある中で、羽鳥小学校の建て替えを検討する際には、移転による新築も選択肢のひとつと考えております。</p> <p>さらに、市全体の学校のより良い教育環境を目指す上では、納場小学校の校舎も概ね築40年が経過していることから老朽となっているため、両学校を一体として整備することも有効な方法と考えられます。</p> <p>学校の整備については、教育環境の向上を第一とし、社会情勢や教育施策の動向とあわせて地域の実情等も踏まえるとともに、市民の皆さまの声にも耳を傾けながら丁寧な説明に努めてまいります。</p>
36		<p>羽鳥小学校と納場小学校の合併について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.校舎の場所は未定であるが、この合併案により生徒の通学距離が長くなり不便をきたすことにならないか？ 2.小学校の合併は堅倉小と納場小、納場小と竹原小の合併も選択肢になりえる。 3.羽鳥小学校は毎年生徒数が増えており他の3校とは特異な傾向がある。(羽鳥小学校を小美玉市の基幹学校として存続させるのがベストではないか) 4.美野里町になり学校合併により美野里中学校を開設したがマスコミからも日本一荒廃している中学校と揶揄されることもあった。(財政規律優先の施策がもたらしたものと考える。その後職員、父母他のご努力があり、危機を脱し現在に至っている) 5.学校の統廃合に当たっては推進協議会を設け校長、教職員、父母を参加させて結論をだしていただきたい。 	1	
37		<p>羽鳥小学校と納場小学校の合併について。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.美野里中(マンモス校)を分割して欲しいとの声が保護者からある中で、合併の主旨の理解が得られるのか。 2.羽鳥小は児童への対応が十分に出来ていない現状で人数が増えて大丈夫なのか。 3.校舎老朽化の為の建て替えの為の合併で時期早尚ではないのか。 4.十分な説明がなく計画が1人歩きして、市の方針に基づいていないのではないか。 	1	

NO	意見の対象箇所	意見内容	意見数	市の考え方(回答)
38	建築物系個別施設計画(案) 第3章 施設類型ごとの個別施設計画 (12)小学校・中学校	羽鳥小と納場小が統合した場合・人数が約800人でクラスが1学年4学級となり、全校で24学級になり、学校教育法の12～18学級を越えてしまう・立地場所が両学区の境界付近となると、小学生の徒歩通学がむずかしくなる。又、車での送りむかえをすると交通が渋滞するのでは・現在の学区の人数約450名で15学級なら丁度よいのではと思う。	1	羽鳥小学校の校舎は、一部を除き、築50年以上が経過し、老朽化が課題となっております。また、敷地が狭く拡張は困難な状態となっております。このような課題がある中で、羽鳥小学校の建て替えを検討する際には、移転による新築も選択肢のひとつと考えております。さらに、市全体の学校のより良い教育環境を目指す上では、納場小学校の校舎も概ね築40年が経過していることから老朽となっているため、両学校を一体として整備することも有効な方法と考えられます。学校の整備については、教育環境の向上を第一とし、社会情勢や教育施策の動向とあわせて地域の実情等も踏まえるとともに、市民の皆さまの声にも耳を傾けながら丁寧な説明に努めてまいります。
39		羽鳥小学校と納場小学校合併について 1.羽鳥小学校の児童数は多少増え、納場地区においても宅地化が進んでいる。単独での立て替えを考えてほしい。 2.合併になると、学校の設置場所、児童達の通学方法、児童数が多い等、安全を含め問題が多いと思う。	1	
40		羽鳥小学校と納場小学校の合併について ・この計画(案)では児童達の立場で考えた計画とは考えられない。 ・施設のみで計画の重点が置かれている。教育に関する計画は独自に作成すべきと思う。 ・羽鳥小学様の児童数は10年前と比較すると増えている。その上、竹小、堅小からの児童数とは比較にならないことでの合併はいかがなものでしょうか。 ・地域に説明会もなく老朽化が前提の計画ならば単独の立て替えを考えてほしい。	1	
41		羽鳥小学校と納場小学校の統合に反対します。	21	
42		羽鳥小と納場小の統合は反対。統合の意味が分かりません。	3	
43		羽鳥小学校と納場小学校の統合は反対する。児童数が多い羽鳥小学校を統合するのは理解ができない。	8	
44		羽鳥学区は人口が多いのに統合する理由が分からない。	1	
45		地域性を鑑みて、羽鳥地区納場地区、特に児童数の多い羽鳥小を統合させることはなじまないと思われまます。	1	
46		納場小学校の統合は反対する。意味がわからない。	2	
47		納場小学校の統合は反対する。納場小学校区内では1戸当り1000円の寄付をしコミニュティ活動を行なって学校に寄付しているのになぜ。	2	
48	羽鳥小学校・納場小学校の統合、今は、反対です。5年後10年後と小学生が減少してから考えで良いのでは?	1		
49	羽鳥小学校、納場小学校統合絶対反対。生徒数の多い学校を統合させる意味がない。	55		
50	羽鳥小学校と納場小学校の統合は反対する。生徒が羽鳥小学校451人以上、納場小学校は241人以上いるのになぜ、マンモス校にしたい理由を教えてください。	6		

NO	意見の対象箇所	意見内容	意見数	市の考え方(回答)
51	建築物系個別施設計画(案) 第3章 施設類型ごとの個別施設計画 (12)小学校・中学校	羽鳥小学校と納場小学校の統合は反対する。生徒が羽鳥小学校500人以上。納場小学校は300人以上いるのになぜ統合するのかわからない。	3	羽鳥小学校の校舎は、一部を除き、築50年以上が経過し、老朽化が課題となっております。また、敷地が狭く拡張は困難な状態となっております。 このような課題がある中で、羽鳥小学校の建て替えを検討する際には、移転による新築も選択肢のひとつと考えております。 さらに、市全体の学校のより良い教育環境を目指す上では、納場小学校の校舎も概ね築40年が経過していることから老朽となっているため、両学校を一体として整備することも有効な方法と考えられます。 学校の整備については、教育環境の向上を第一とし、社会情勢や教育施策の動向とあわせて地域の実情等も踏まえるとともに、市民の皆さまの声にも耳を傾けながら丁寧な説明に努めてまいります。
52		羽鳥小学校と納場小学校の統合は反対する。生徒数の多い学校を統合してマンモス校にする必要はない。	3	
53		羽鳥小学校と納場小学の統合は反対する。マンモス校にしたい理由を教えてください。	2	
54		羽鳥小学校と納場小学校の統合は反対する。羽鳥学区は、玉里地区より人口が多いのになぜ、統合するの。理解が分からない。	1	
55		この先の人数はわからないけれどマンモス校にする必要はないと思う。反対です。	1	
56		羽鳥小と納場小は人数が多い。普通は少ない所を統合するのでは?反対します。	1	
57		羽鳥小・納場小の統合絶対反対。生徒数の多い学校を統合する意味がない。その前に生徒数が10年前より100人以上も減り続けている小学校を先に考えるべきである。	1	
58		羽鳥小学校と納場小学校の統合は反対する。生徒数が多い学校を統合する意味が、わからない。生徒数が少ないところが、統合するのではないのでしょうか。	1	
59		羽鳥小と納場小の統合は反対する。生徒数が多くなり、教育の質が落ちると思う。	1	
60		羽鳥小学校と納場小学校の統合は反対する。羽鳥小学校の生徒451人以上、納場小学校の生徒241人以上いるのにそれ以上の小学校になると子供達ひとりひとりに教育は、どどくのか?不安でならない。	1	
61		羽鳥小学校、納場小学校統合絶対反対。生徒数の多い小学校を統合させる意味がない。遠い場所になると災害時に子供達の送迎が大変になると思います。	3	
62		羽鳥の生徒数も納場の倍もある学校との統合とはなにを考えているのですか。今から先、羽鳥には駅もあるし、なにかと利用度もたくさんある中、なぜこういう事が始まったのですか。こんな事よりも、もっともっとやらなきゃする事があるのでしょうか。羽鳥の子供達の通学道路をもう少しやって頂けないでしょうか。	1	
63		羽鳥小学校と納場小学校の統合は反対する。運動会は出来る、車の駐車場が少ないだけ。どこの小学校を見ても駐車場は少ない。羽鳥小学校の駐車場は多いと思う。	1	
64		人数の多い羽鳥と納場を統合する考えが分からない。お金の使い方がおかしい。税金をなんだと思ってる?羽鳥小に通わせているが、確かに駐車場は少ないが運動会は、希望ヶ丘公園で良かったと思うし、授業参観も問題なくできている。統合するメリットを教えてください。	1	
65		このような大事なことを、住民への説明もなく、進めようとする事は、理解出来ません。又、近年では、多発化する、自然災害も大規模化しており羽鳥小学校は避難場所に指定されている為、避難所の減少になり近隣地区の避難場が遠のく。案を白紙に戻し、羽鳥小学校は現在地で建て替えるべきである。	1	

NO	意見の対象箇所	意見内容	意見数	市の考え方(回答)
66	建築物系個別施設計画(案) 第3章 施設類型ごとの個別施設計画 (12)小学校・中学校	羽鳥小と納場小の人数を考えると今より児童数が増加し、子供達をよく見られなくなる。学校への通う、距離が遠くなり不便、危険も増える。バスを出さなくても人数的には困難であり予算もかかると思われる。親としても遠くなることにより生活に支障もでる。今の現状、コロナ時代も考えて、感染リスクも高まる、児童数が少ないなら分かるが統合は必要ないと思う。子供たちの事を考えてほしいです。	1	羽鳥小学校の校舎は、一部を除き、築50年以上が経過し、老朽化が課題となっております。また、敷地が狭く拡張は困難な状態となっております。このような課題がある中で、羽鳥小学校の建て替えを検討する際には、移転による新築も選択肢のひとつと考えております。さらに、市全体の学校のより良い教育環境を目指す上では、納場小学校の校舎も概ね築40年が経過していることから老朽となっているため、両学校を一体として整備することも有効な方法と考えられます。学校の整備については、教育環境の向上を第一とし、社会情勢や教育施策の動向とあわせて地域の実情等も踏まえるとともに、市民の皆さまの声にも耳を傾けながら丁寧な説明に努めてまいります。
67		羽鳥小、納場小統合に反対!通学が遠くなり不便。スクールバスが出ても利用料金・・・家庭に負担。人数もマンモス化して、心配。良い事はない。	1	
68		羽鳥小学校と納場小学校の統合に反対します。生徒数の多い学校を統合する理由が分からないため、また、移転統合によって、通学距離が長くなり、登下校が大変になる生徒ができるのではないかと。最後に自分が通っていた学校が解体されるのが悲しいからです。	1	
69		駐車場は、両方狭いが、子供の人数は、各校多い。脇山地区・江戸地区・北浦地区など、新たに新築の家を建てる人が多く、子供も増えているから、それぞれ近い学校がなくなると困る。子供が、3km以上歩いて現在登下校しているのに、それ以上、遠くさせたら、冬場など暗くなるのが早い季節は危ないし、朝も今7時に家を出ているが更に早く出るというのか?	1	
70		反対です。意味がわかりません。誰が得をするのですか?税金で給料もらっている誰かですか?統合した場合の子供達の交通手段は、どうするのですか?それも、税金を使うのでしょうか?絶対に反対します。	1	
71		羽鳥小学校と納場小学校の統合に絶対反対です。美野里地区の4つの小学校のうち生徒数の多い羽鳥と納場を統合してマンモス校とし、竹原・堅倉小と格差をつくる理由がわかりません。小学校はできるだけ近くにあってほしいです。	1	
72		学童にも通っているため家の近くがいいため、羽鳥小学校と納場小学校の統合には反対する。	1	
73		羽鳥小学校と納場小学校の統合を反対します。 理由①東日本大震災の時には避難所として大変助かりました。みなさん徒歩、自転車で来てました。近くにあるから良いのではないのでしょうか? ②子供達は情緒面が一番養われる時であって、私の子どもの時を思い出しても歩いて行く事によって毎日が色々な発見であり、勉強で、人の関係作りも覚えられると思います。季節によって風景も違う。雑草さえもが見新しく、雨や雪の日はどう歩けば良いか等、毎日が勉強です。机上では教えて貰えません。	1	
74		羽鳥小学校と納場小学校の統合は反対する。総合計画で陸の交通エリアとして計画し定住人口を増やすとしているのに考え方が不明。これからは羽鳥駅周辺しか人口は増えないと思うが市の考え方は。	2	
75		合併する事によって、学校までの距離が遠くなると保護者の負担が多くなり、子供達にとっても負担となるのではないかと。また安全の面でも心配。創立100年以上の歴史ある学校(羽鳥小学校)なので残してほしい。また近くに小学校があると若い世代の人達が増えて活気のある町になると思います。	1	
76	羽鳥地区並びに納場地区は常磐線羽鳥駅の近くにあり、常磐線沿線では地価が安く、人口の増加が期待されます。羽鳥地区・納場地区とも児童数の増加する可能性が高い地域です。現実に即した行政(費用対効果)も大切ですが、将来を見据えた施策も大切ではないでしょうか。	1		

NO	意見の対象箇所	意見内容	意見数	市の考え方(回答)
77	建築物系個別施設計画(案) 第3章 施設類型ごとの個別施設計画 (12)小学校・中学校	羽鳥小学校・納場小学校統合絶対反対。生徒数の多い学校を統合させる意味がない。それに羽鳥には、駅や施設やいろいろあって住みやすい場所なのに、もし統合して違う場所にできたら住む人がいなくなるのでは？もっと地元住民や小美玉市の事を考えてください。	1	羽鳥小学校の校舎は、一部を除き、築50年以上が経過し、老朽化が課題となっております。また、敷地が狭く拡張は困難な状態となっております。このような課題がある中で、羽鳥小学校の建て替えを検討する際には、移転による新築も選択肢のひとつと考えております。さらに、市全体の学校のより良い教育環境を目指す上では、納場小学校の校舎も概ね築40年が経過していることから老朽となっているため、両学校を一体として整備することも有効な方法と考えられます。学校の整備については、教育環境の向上を第一とし、社会情勢や教育施策の動向とあわせて地域の実情等も踏まえるとともに、市民の皆さまの声にも耳を傾けながら丁寧な説明に努めてまいります。
78		今このコロナで大変な時期、国、県、市、財政が逼迫している中、おおくの税金をかけ考えなくては、ならないのでしょうか。まだまだ使える所は考えて工夫して私達が、子袋達がよりよい生活になるよう、もっともっとほかに考えなくてはならないと思います。統合について通学が遠くなり、バスで回るのはですか、バスを買い、運転手を雇い、学校の建物だけではなく、どれほどのお金がかかるのか。みな私達からの税金ですよ。反対します。	1	
79		生徒数が、451人以上の羽鳥小学校。今後、羽鳥地区の人口も増えそう。現在でも大人数なのに納場小と統合す必要性が分からない。統合後、生徒数が増えた時、また2つに分ける必要があるかもしれない。その時建てるのに使われるのは税金、ムダに使うな!	1	
80		・羽鳥小学校 納場小学校統合反対・羽鳥地区は羽鳥駅を利用した都心のベッタウンとして移住者が増加しているのに近隣に小学校がなくては魅力が半減してしまう。 ・登校にバスを利用しなくてはいけない。人数が多い小学校の送迎をするのではバスの経費が増すのでは?!	1	
81		主な改善案として、羽鳥小学校と納場小学校の移転統合とめるが、今現在の所羽鳥地区は一戸建ての住宅が増え若い世代の人達が集まり子供も増えている様子ですが、今後ますます子供が増え続けるとは言い難いと思う。また統合した場合の子供達の通学に関して、徒歩通学出来れば良いが、バス通学とかになると、定期代(バス代)とかにかかると費用が家庭によっては負担になるところも出てくると思う。	1	
82		市内で最も児童数が多く、また将来も大きく減少することもない羽鳥小学校を、なぜ統合する必要があるのか。堅倉、竹原と同様に、現在地で建て替えるべきです。児童が徒歩で通学できることが望ましい。この案には、反対です。	1	
83		・市内で児童数が最も多い羽鳥小学校を統合して、大規模な学校にする理由・必要性を理解できない。この案には反対です。 ・2つの小学校を統合して、どのような学校にするのか、まず説明すべきです。このような統合案には反対です。 ・堅倉、竹原と同様に現在地に建て替えるべきです。児童は徒歩で通学できることが望ましい。この案には反対です。	1	
84		羽鳥小学校、納場小学校の統合建て替え(案)について反対します。現状、児童数が最も多い羽鳥小学校を統合して大規模な学校にする理由、必要性を理解出来ません。また、児童は徒歩通学出来る事が望ましいと考えますし、保護者にとってもその方が安心と考えます。そのため、現在地に建て替えるべきです。	1	
85		児童数が多い羽鳥小学校を統合する必要はない。現在地で建て替え。少人数学級を実現し、一人一人の児童と向き合う方が望ましい。統合案には反対です。	1	
86		市内で児童数が最も多い、羽鳥小学校をなぜ統合する必要があるのでしょうか。児童が徒歩で通学できる現在地での建て替えが望ましいと思います。この案には、反対です。	1	
87	従来通り羽鳥小学校の存続を希望します。学区が広がることで安全面の確保も困難。	1		
88	美野里地区でも特に羽鳥学区は生徒の数も増えてると思うし、今後も羽鳥駅、スマートIC、空港のアクセス等を考えると学校の合併はあり得ないと思う。小学生は必ず増えますよ！※羽鳥小は合併より単独の建て替えを望みます。	1		

NO	意見の対象箇所	意見内容	意見数	市の考え方(回答)
89	建築物系個別施設計画(案) 第3章 施設類型ごとの個別施設計画 (12)小学校・中学校	羽鳥小学校は駅から近く災害がおきた時も皆さん歩いて避難できる場所、子ども達も歩いて行けると、今の場所での建て替えを希望します。 2つの小学校を統合して、どのような学校にするのか、どこに建てようとしているのか？登校はどのようにしようと考えているのか？説明がほしいです。	1	羽鳥小学校の校舎は、一部を除き、築50年以上が経過し、老朽化が課題となっております。また、敷地が狭く拡張は困難な状態となっております。 このような課題がある中で、羽鳥小学校の建て替えを検討する際には、移転による新築も選択肢のひとつと考えております。 さらに、市全体の学校のより良い教育環境を目指す上では、納場小学校の校舎も概ね築40年が経過していることから老朽となっているため、両学校を一体として整備することも有効な方法と考えられます。 学校の整備については、教育環境の向上を第一とし、社会情勢や教育施策の動向とあわせて地域の実情等も踏まえるとともに、市民の皆さまの声にも耳を傾けながら丁寧な説明に努めてまいります。
90		老朽化が進んでいるなら現場所に建替えればよい。	1	
91		①羽鳥地区の今後人口増加が有る見込みで、この計画では児童の立場で考えた計画とは考えられない。 ②老朽化が前提なら、単独の立て替えを希望します。	1	
92		反対です。人数が少なくなっても、今まで通り、4学区でお願いします。(美野里)	1	
93		羽鳥小学校と納場小学校の統合は反対する。美野里地区の小学校全部が統合し、小中一貫校になるなら賛成。	1	
94		羽鳥小学校、納場小学校の統合は反対しますが、「義務教育学校としての2校統合に!!!」は、期待します。教育環境・生活環境を考えるのであれば、美野里地区に中学校が1校のマンモス校を見直してほしい。	1	
95		この意見が出ていると聞いた時、素で意味が分からないと思いました。そもそもこの2校は人数が大幅に減り続けていますか？統合建替えした面積に大きな差がないなら、生徒数700人近く校舎にいて先生の目が行き届くと思えません。逆に教育の質は下がるのではないのでしょうか。また、交通手段は？羽鳥から納場、又は逆だとしても徒歩で自転車で行けない距離の子は？バスでも出しますか？そんな所で税金使うなら毎年受けるインフルエンザの助成を全額市で負担してくれよと思います。私はこの話に絶対に反対します!!!	1	
96		1. 経費節減のための羽鳥小・納場小の統廃合に反対します。整備レベルの向上とやらは個別建替の方が向上するのでは。両学校の現在地からの移転は絶対反対である。学校作りで大切なことは、すべての子供達の学びやすい教育環境の整備と維持ではないのでしょうか。 2. 羽鳥小・納場小の統廃合計画を作るに当っては学区内住への説明会の開催を求めます。 3. 小学校の統廃合という重要な事柄について、「広報おみたま」という軽い内容の広報紙を用いての周知は不適當である。別刷りの広報文を作成配布すべきである。慎重さに欠けると思う。	1	
97		児童数が市内で最も多い羽鳥小学校を統合して大規模な学校にする理由や必要性がわかりません。又、このような大事なことを地域住民に説明することなく進めているのは理解できません。この案には反対です。	1	
98		このような大事なことを住民に説明することなく進めようとするのは理解できない。この案には反対です。	1	
99	羽鳥、納場小の統合建て替え(案)について。大事なことを住民に説明する事をく進めるのは理解できない。	1		

NO	意見の対象箇所	意見内容	意見数	市の考え方(回答)
100	建築物系個別施設計画(案) 第3章 施設類型ごとの個別施設計画 (12)小学校・中学校	市内で最も児童数が多く、又将来も大きく減少することもない羽鳥小学校を、なぜ統合する必要があるのか。児童にとっても現地で建て替えが望ましい。なぜ統合するのか、住民にまず説明すべきで、一方的に進めようとするのが理解できない。統合案には反対です。	1	羽鳥小学校の校舎は、一部を除き、築50年以上が経過し、老朽化が課題となっております。また、敷地が狭く拡張は困難な状態となっております。このような課題がある中で、羽鳥小学校の建て替えを検討する際には、移転による新築も選択肢のひとつと考えております。さらに、市全体の学校のより良い教育環境を目指す上では、納場小学校の校舎も概ね築40年が経過していることから老朽となっているため、両学校を一体として整備することも有効な方法と考えられます。学校の整備については、教育環境の向上を第一とし、社会情勢や教育施策の動向とあわせて地域の実情等も踏まえるとともに、市民の皆さまの声にも耳を傾けながら丁寧な説明に努めてまいります。
101		羽鳥小学校は小美玉でも児童数が最多です。新築校舎を要望しますが納場小学校と統合する必要があるのかももう少し羽鳥の地元の意見とていねいな説明を住民に分りやすくしてもらおう要求を致します。現状の状況では統合は反対致します。	1	
102		統合ありきのあいまいな計画ではなく、どの様な統合案なのか具体的に(新設場所・通学方法・コスト・スケジュール等)示した上で意見を募集しなければ、地域住民の行政・議会(議員)への不信感を増幅させるだけ。もっと、説明するべきです。よって、今の、統合案には反対です。	1	
103		堅倉小、竹原小と同様に現地で建て替えるべきだと思います。また、2つの小学校を統合してどのような学校にするのか、まず説明すべきです。この様な統合案には反対です。	1	
104		羽鳥小学校と納場小学校の統合は反対する。児童のうちは近距離で通学しやすく、人数も多過ぎずの方が適切であると思う。働く親・家族の負担にならない為にも今のままが良いのではと思える。この様な計画は、決定の前に説明する機会及び時間を充分にとってほしいと思う。	1	
105		生徒の数が多き羽鳥と納場を統合することは理解ができません。住民への説明はしないで水面下で決めるつもりですか?	1	
106		羽鳥小学校納場小学校統合絶対反対。生徒数の多い学校を統合させる意味がない。何が目的かわからないし説明もない。この事にたいして知らない人が多すぎる!!	1	
107		羽鳥小学校と納場小学校の統合は反対する。生徒数の多い学校同士を統合する理由が判らないし、説明もないため反対する。	1	
108		この様な重要な案件を住民に何の説明も無しに一方的に進めようとするのがまったく理解できません。統合案には反対です。	1	
109	1 小学校の教育においては、まず安全安心を基本とすべきであり、児童の健全育成のためには教師、児童、保護者の絆が大切である。今回の統合案には、そのような観点からの配慮が欠けており、取り消すべきである。 2 地域の各区から専門委員を選出し、住民の意見、提案をフォローするような取り組みを行うべきである。 3 今回の統合案は、建物の耐用年数のみからしかみていないものであり、創意工夫により、施設の延命化なども検討すべきであり、そのような知恵がない。 1「統合建替えとなることにより、老朽化対応だけでなく、教育環境・生活環境の向上など整備レベルの向上が期待できる。」としているが、老朽化校舎を建て替えることにより、学校内では教育環境や生活環境の向上は期待できるかもしれないが、合併、移転新築となれば遠距離通学となる児童が多くなり、通学途中の安全確保が大きな問題になるうえ、児童の負担にもなるため、むしろ悪化する。 2 少子高齢化社会の進展に伴い、小美玉市も児童数の減少は避けられず、小学校の統合は避けられない課題であるが、羽鳥小学区は、交通の利便性から年々人口が増加し、若い世代の転入者も多いことから、急激に児童数が減るとは考えにくい。現在500名の児童数で、堅倉小学校、竹原小学校、納場小学校の三校合計約630名と大差はなく、転入者の少ない3学区との差は今後さらに縮小するものと予想されます。 3 小学校の統合の検討は、小美玉市においても緊急の課題であり、複式学級となることを避けるためにも、適正規模の羽鳥小学校との統合以前に、羽鳥小学校以外の三校の統合問題を検討すべきではないか。 4 羽鳥小学校は単独残り現地で建て替えが望ましい。いずれにしても、住民によく説明し意見を聞き進めるべきと思われる。	1	市全体の小学校、中学校の整備状況については、まず、市発足当時から学校の老朽が進んでいる状況となっていた中で、公共施設耐震化の課題がありました。学校の耐震化は、安全を第一とした上で早急に行うべき取組みとし、特に老朽が顕著となっていた堅倉小学校、竹原小学校の両学校は、耐震化建替えとし、その他の学校は耐震改修の整備を行ってきました。 一方、平成27年2月策定の「小美玉市立小中学校規模配置適正化実施計画」により、令和4年度予定の小川北義務教育学校の開校をもって、小川地区と玉里地区の学校は、教育環境の向上改善が完了します。 このような経緯の中で、市内全ての児童がより良い環境の中で学校生活を送れることを第一と考えれば、羽鳥小学校と納場小学校、両学校の整備は、必要なことであり、校舎の建替えが、最善の方法になると考えております。 しかし、本計画のとおり、将来にわたって健全な市政運営を図っていくためには、学校を含む公共施設を一定規模で削減する必要があるため、学校の整備にあたっては、このような大きな課題も踏まえる必要があることのご理解をお願い申し上げます。また、今後における具体的な学校の整備にあたっては、地域の実情や地域の皆さまの声に耳を傾けるとともに、社会情勢や教育環境の動向を踏まえる等、更なる検討の必要性を確認した上で、市民の皆さまへの情報発信にも努めてまいります。	

NO	意見の対象箇所	意見内容	意見数	市の考え方(回答)
110	建築物系個別施設計画(案) 第3章 施設類型ごとの個別施設計画 (12) 小学校・中学校	<p>羽鳥、納場小学校の統合案について (1)美野里地区の4小学校の整備方向について これについては、これまでに全体的な検討を行ってきたと思われるが、その経過及び結果はどのようなものであったか。 その後、堅倉、竹原の2小学校がそれぞれ建て替えられたところであるが、羽鳥、納場の2小学校については、その時点で、基本的にどのように位置づけられていたのか。(先行して堅倉、竹原2校が建て替えられているので、羽鳥小学校については児童数等からみても当然のこととして、いずれかの時期には建て替えがなされるものと思っておりました。多くの羽鳥地区住民もそのように思っていたと思う。今回の統合案は、まったくの想定外、寝耳に水であります。)</p> <p>(2)めざすべき学校像について 今回の統合案によって、どのような学校像を展望しているのか、なぜ望ましいのかが理解できない。 教育の専門家によれば、「小学校は1学年3クラスまでが適正であり、また、基本的には徒歩による通学が望ましい」という意見がありました。 今回の統合案の中で「老朽化対応だけでなく、教育環境・生活環境の向上など整備レベルの向上が期待できる」とあるが、「少人数教育」の潮流の中で、また、両校の児童数の現状及び今後の見通しからみて、3校分にも匹敵するような規模の小学校が出現することになり、大きな環境の変化をもたらすものであり、それが児童にとって望ましいこととは到底思えない。 学校の適正規模、適正配置の観点から合理性、必然性がみられない。 望ましい小学校の在り方、児童にとって何が望ましいかなど、基本的、本質的な観点からの説明がみられず、今回の統合案についてはどこに合理性があるのか、大いに疑問がある。単なる「公共施設の面積削減、財政問題解決」のための便法としか思われえない。 ・羽鳥小学校の運動会が、希望が丘運動公園で実施されたことがあったが、運動会当日、多くの保護者が自家用車で学校に来たことで、学校周辺に駐車スペースの確保が困難になったためにとられた措置であり一時的な問題と思われる(決して駐車場が広いとは言えないが)。 ・現在、羽鳥小学校の児童で自転車通学は3名であり、全体の1%に満たない理想に近い状況である。</p> <p>(3)地域コミュニティ活動との関連について 小学校区は、これまで地域コミュニティ活動のベースとなるものであり、そこを基盤として各地域で各種事業、地域活動を展開、継続してきている。小学校は、その中心的、シンボリック的存在である。 市行政においても、これまでそのような方針のもとにコミュニティ活動を支援し推進してきているところであり、地域住民サイドでもそのような共通認識のもとに市内各地域で各種の地域活動に取り組んできているところである。 堅倉、竹原両小学校の建て替えについては、どのような経過、判断によるものかがわからないが、既存の地域に対する配慮という点では、評価できるところがあり英断ともいえるものである。 しかしながら、今回の統合案については、そのような観点、地域に対する配慮が全く見られず、地域におけるこれまでの取り組みを根底から覆すものであり。また、これまでの美野里地区における小学校の建て替え経過との関連性、一貫性がなく、一方的な結論であり承服できるものではない。 住民にとって身近な小学校は、災害時に地域の防災拠点として、避難所としての役割を担う施設でもあり、特に災害弱者にとって頼りになる存在である。これらについても十分、配慮されるべきものである。 以上の点から羽鳥、納場両小学校の統合案については、撤回すべきである。</p>	1	<p>市全体の小学校、中学校の整備状況については、まず、市発足当時から学校の老朽が進んでいる状況となっていた中で、公共施設耐震化の課題がありました。学校の耐震化は、安全を第一とした上で早急に行うべき取組みとし、特に老朽が顕著となっていた堅倉小学校、竹原小学校の両学校は、耐震化建替えとし、その他の学校は耐震改修の整備を行ってきました。</p> <p>一方、平成27年2月策定の「小美玉市立小中学校規模配置適正化実施計画」により、令和4年度予定の小川北義務教育学校の開校をもって、小川地区と玉里地区の学校は、教育環境の向上改善が完了します。</p> <p>このような経緯の中で、市内全ての児童がより良い環境の中で学校生活を送れることを第一と考えれば、羽鳥小学校と納場小学校、両学校の整備は、必要なことであり、校舎の建替えが、最善の方法になると考えております。</p> <p>しかし、本計画のとおり、将来にわたって健全な市政運営を図っていくためには、学校を含む公共施設を一定規模で削減する必要があるため、学校の整備にあたっては、このような大きな課題も踏まえる必要があることのご理解をお願い申し上げます。また、今後における具体的な学校の整備にあたっては、地域の実情や地域の皆さまの声に耳を傾けるとともに、社会情勢や教育環境の動向を踏まえる等、更なる検討の必要性を確認した上で、市民の皆さまへの情報発信にも努めてまいります。</p>

NO	意見の対象箇所	意見内容	意見数	市の考え方(回答)
111	建築物系個別施設計画(案) 第3章 施設類型ごとの個別施設計画 (12)小学校・中学校	<p>第三章2.(12) 小中学校 羽鳥小学校の統廃合については反対です。</p> <p>①この計画(案)では先に統廃合(改築)ありきで進んでいる。計画作成にあたっては、児童の教育効果が十分に担保されるべきと考える。又、児童を取り巻く環境を十分に考慮すべき(特に通学、防犯)問題。仮にスクールバスを運用することになれば、費用対効果の面で市の財政負担が何処まで増加していくのか?</p> <p>②今回の計画(案)作成に当たって、小美玉市立小中学校規模配置適正化実施計画(平成27年2月)との整合性に疑問を感じる、この計画では、美野里地区の小学校は適正規模を満たしているから除外となっている。小美玉市立小中学校規模配置適正化地域協議会のなかでも、今回の計画(案)に関わる件は協議された痕跡が見受けられない。甚だ疑問を感じる。</p> <p>以上の理由から私は、上位計画の内容に沿って計画作成に当たって欲しい(第7章フォローアップの方針、第2節市民ニーズの把握と市民への情報提供)を失念しないように。最後に市民の意見が十分に反映された計画を作成して下さい。市民も市当局も計画により利害を被る方々の目線に立つて進めて頂ければ、少なくとも小美玉市は他の市町村より一歩進んだ市になることは明白です。気概を持って頑張ってください。決してヒラメ職員にはならないように。脇道にそれてしまいましたが、一小市民としての意見を述べさせてもらいました。</p>	1	<p>市全体の小学校、中学校の整備状況については、まず、市発足当時から学校の老朽が進んでいる状況となっていた中で、公共施設耐震化の課題がありました。学校の耐震化は、安全を第一とした上で早急に行うべき取組みとし、特に老朽が顕著となっていた堅倉小学校、竹原小学校の両学校は、耐震化建替えとし、その他の学校は耐震改修の整備を行ってきました。</p> <p>一方、平成27年2月策定の「小美玉市立小中学校規模配置適正化実施計画」により、令和4年度予定の小川北義務教育学校の開校をもって、小川地区と玉里地区の学校は、教育環境の向上改善が完了します。</p> <p>このような経緯の中で、市内全ての児童がより良い環境の中で学校生活を送れることを第一と考えれば、羽鳥小学校と納場小学校、両学校の整備は、必要なことであり、校舎の建替えが、最善の方法になると考えております。</p> <p>しかし、本計画のとおり、将来にわたって健全な市政運営を図っていくためには、学校を含む公共施設を一定規模で削減する必要があるため、学校の整備にあたっては、このような大きな課題も踏まえる必要があることのご理解をお願い申し上げます。また、今後における具体的な学校の整備にあたっては、地域の実情や地域の皆さまの声に耳を傾けるとともに、社会情勢や教育環境の動向を踏まえる等、更なる検討の必要性を確認した上で、市民の皆さまへの情報発信にも努めてまいります。</p>
112		小学校の統合は反対です。	4	
113		統合には反対です。	1	
114		今、この計画のタイミング時期か?反対である。耐震化等に金をかけて来たこと、税金をもっと計画的に使ってほしい。駐車場の狭さを解決すれば現状でOKではないか。	1	
115		羽鳥小学校と納場小学校の統合は、反対する。学校規模適正化に入っていないのに考え方が不明である。	7	
116		(統合建替えとなることにより、老朽化対応だけでなく、教育環境、生活環境の向上など整備レベルの向上が期待できる。)とありますが大きくなればなる程教育環境や生活環境は悪くなります。またこの様な大事な事を殆どの住民が知らないうちに進めているのは理解できない。学校の適正規模適正配置からみても理解できないこの案には反対です。	1	
117		人数が多いのに、統合する意味がわかりません。	6	
118		生徒数の多い学校を統合する理由が分からないので統合には反対します。	2	
119		人数を増やしても、よい学校はつukれない。	1	
120		統合する必要性が現在のところ考えられない。マンモス校にする事により教育環境や生活環境がどの様に向上するのか?何を目的に統合するのか?不明である。少人数地域密着型で子供達を見守り育てていく方がいいのでは?	1	

NO	意見の対象箇所	意見内容	意見数	市の考え方(回答)
121	建築物系個別施設計画(案) 第3章 施設類型ごとの個別施設計画 (12)小学校・中学校	反対です。人数の少ない学校を考えた方が良いと思います。	1	市全体の小学校、中学校の整備状況については、まず、市発足当時から学校の老朽が進んでいる状況となっていた中で、公共施設耐震化の課題がありました。学校の耐震化は、安全を第一とした上で早急に行うべき取組みとし、特に老朽が顕著となっていた堅倉小学校、竹原小学校の両学校は、耐震化建替えとし、その他の学校は耐震改修の整備を行ってきました。 一方、平成27年2月策定の「小美玉市立小中学校規模配置適正化実施計画」により、令和4年度予定の小川北義務教育学校の開校をもって、小川地区と玉里地区の学校は、教育環境の向上改善が完了します。 このような経緯の中で、市内全ての児童がより良い環境の中で学校生活を送れることを第一と考えれば、羽鳥小学校と納場小学校、両学校の整備は、必要なことであり、校舎の建替えが、最善の方法になると考えております。 しかし、本計画のとおり、将来にわたって健全な市政運営を図っていくためには、学校を含む公共施設を一定規模で削減する必要があるため、学校の整備にあたっては、このような大きな課題も踏まえる必要があることのご理解をお願い申し上げます。また、今後における具体的な学校の整備にあたっては、地域の実情や地域の皆さまの声に耳を傾けるとともに、社会情勢や教育環境の動向を踏まえる等、更なる検討の必要性を確認した上で、市民の皆さまへの情報発信にも努めてまいります。
122		人数が増えてしまうと教育が行き届かなくなってしまうのではないかと。	1	
123		生徒が多い小学校同士を統合して教育環境・生活環境の向上等できる根拠を知りたい。増やした所で何がどうなるの。	1	
124		児童が増えると先生が目が届かないと。	1	
125		教室の数と学校の広さがたりない。先生が目が届きにくくなる。	1	
126		学区が広範囲になることで児童の安全を確保することがむずかしい。	10	
127		通学距離が長くなるので、安全面など不安がある。	3	
128		通学距離が長くなるため、安全面での不安がある。玉里地区とはちがう。	3	
129		学区が広すぎて安全を確保するのが大変なため人数が多すぎて見きれない。	2	
130		通学距離が長くなる事で、見守りができない。事故、事件の危険性が高くなる・通学路になじみがない。	1	
131		統合後の通学の安全性の確保等を十分に考えていただきたい。	1	
132		小学校は、地域の中核を成す施設でありコミュニティの中心である。地域の重要施設である小学校を合理性だけで統合を論ずるのは軽率以外の何ものでもない。通学距離の長くなる子どもの安全をどう担保できるのか?小学校は地域のランドマーク。単純に統合などと言うな。	1	
133		地域のコミュニティとして、必要であるので反対。今の児童数も多いのに、これ以上、多くなると児童に目が届かなくなると思う。反対。	1	
134		学区が広がるから。	2	
135		学区が拡大し子供達の安全が守れない恐れがある。教育の質が落ちる恐れ。	1	

NO	意見の対象箇所	意見内容	意見数	市の考え方(回答)
136	建築物系個別施設計画(案) 第3章 施設類型ごとの個別施設計画 (12)小学校・中学校	学区が広がることで、問題が増える。(登校などの安全面や学力の部分で)	1	市全体の小学校、中学校の整備状況については、まず、市発足当時から学校の老朽が進んでいる状況となっていた中で、公共施設耐震化の課題がありました。学校の耐震化は、安全を第一とした上で早急に行うべき取り組みとし、特に老朽が顕著となっていた堅倉小学校、竹原小学校の両学校は、耐震化建替えとし、その他の学校は耐震改修の整備を行ってきました。 一方、平成27年2月策定の「小美玉市立小中学校規模配置適正化実施計画」により、令和4年度予定の小川北義務教育学校の開校をもって、小川地区と玉里地区の学校は、教育環境の向上改善が完了します。 このような経緯の中で、市内全ての児童がより良い環境の中で学校生活を送れることを第一と考えれば、羽鳥小学校と納場小学校、両学校の整備は、必要なことであり、校舎の建替えが、最善の方法になると考えております。 しかし、本計画のとおり、将来にわたって健全な市政運営を図っていくためには、学校を含む公共施設を一定規模で削減する必要があるため、学校の整備にあたっては、このような大きな課題も踏まえる必要があることのご理解をお願い申し上げます。また、今後における具体的な学校の整備にあたっては、地域の実情や地域の皆さまの声に耳を傾けるとともに、社会情勢や教育環境の動向を踏まえる等、更なる検討の必要性を確認した上で、市民の皆さまへの情報発信にも努めてまいります。
137		人数の多い羽鳥小と納場小を統合する理由が分からない。人数の少ない堅倉小と竹原小を何故建てかえたのか、なぜ先のことを考えずに建てかえたのか。	1	
138		羽鳥の児童数451人、竹原の児童数186人でなぜ、竹原は建替られたのか。今後は、どこも児童数は減るだろうが、羽鳥・納場の統合までの検討までには至らないのではないか。	1	
139		羽鳥小学校と納場小学校が統合する計画があるが、児童数の一番少ない竹原小学校は186人で建替えしているのは、おかしいのではないかと。	1	
140		納場小学校の統合に反対する。竹原小学校は180人しかいないのになぜ建替たのか？説明がない。	1	
141		納場小学校の統合に反対する。竹原小学校はなぜ、建替たのか説明する必要がある。	1	
142		生徒数が多い、羽鳥小と納場小を統合し、生徒数の少なく、減少している竹原小を建替えているのはおかしいと思う。又、やろうとしていることの意図がまったくわかりません。住民への説明はど一なってるんですか？	1	
143		羽鳥小学校と納場小学校の統合は反対する。生徒数の少ない竹原小学校が建替えたのは、どうしてなのか。	1	
144		羽鳥小学校と納場小学校の統合は反対する。竹原小学校が建替えたのは、なぜか？生徒数が少ない小学校が統合するのでは。	1	
145		学童数これから減ってゆくの新しい土地に学校建てる必要ないと思います。納場小は堅倉小に統合してはどうか。空いている教室あるならそれで間に合うし、これ以上箱物を作る必要ないのではないかと。羽鳥小納場小の統合は反対します。	1	
146		生徒数が多い、羽鳥小と納場小を統合し、生徒数の少なく、減少している竹原小を建替えているのはおかしいと思う。又、やろうとしていることの意図がまったくわかりません。住民への説明はど一なってるんですか？	1	
147		羽鳥小学校と納場小学校の統合・建替えについて 1.約10年の内に計画されているが、地域住民との合意形成が不可欠との認識を示されているので説明会や意見交換の場を充分設定して下さい。 2.施設の老朽化の為、解体、建替えは理解するが即統合は納得できない。児童数の減少を理由に上げると思うが、1学級30人程度の小規模校であっても、地域に根ざした教育環境だと思う。 3.統廃合により残った校舎は原則「除却」の方向性で検討を進めるとしているが、民間による有効活用を進めるとしているが、民間による有効活用を積極的に募集することを提案したい。 4.統合による通学手段は、ほぼスクールバス方式となっているのを茨城町などでも見聞している。遠距離となるためそれが最善の方策となるのは理解できます。登校班で歩行による登下校の良さ、そこから育まれる人間形成の深い何かがあります。下校時の道草(路草)にも友達とのほんわかかな楽しさがあるはずで。 5.統合することの意義をしっかりと示して下さい。	1	

NO	意見の対象箇所	意見内容	意見数	市の考え方(回答)
148	建築物系個別施設計画(案) 第3章 施設類型ごとの個別施設計画	美野里公民館、図書館と堅倉小学校の複合化について。景気が良くない今、犯罪も増えているように思える中で、小学校の中に図書室を移転するのは子どもたちの安全上どうなのかと思いました。	1	本計画では、堅倉小学校には、美野里公民館・図書館の機能を移転し、複合施設として活用する方向性をお示ししております。今後の児童数減少等の状況によっては、教室の配置の見直しや運用時間の工夫などを行うことで、公民館で行われている活動を展開できると考えております。また、学校図書館と市民図書館との共用化により機能の充実を図り、地域の拠点としても活用ができればと考えております。 竹原小学校においては、農村環境改善センターの機能を移転し、複合施設として活用する方向性をお示ししております。校舎には、地域交流室や多目的スペース等が設置されており、運用時間の工夫などを行うことで、農村環境改善センターで行われている活動を展開できると考えております。なお、令和3年4月には、校舎内に統合幼稚園の「よつば幼稚園」が開園することになっております。さらに、体育館については、地域との共用を踏まえ、農村環境改善センターのホール利用者を吸収できる機能整備等により対応したいと考えております。
149	(12)小学校・中学校	羽鳥小と納場小統合に反対。生徒数が多い羽鳥と納場の案が出る意味がわからない。堅倉や竹原は?そんな事よりもっと子育て世帯に支援をする事を真剣に考えてください。	1	施設の再編を実行に移す時には、防犯上の課題についても対策の検討をしっかりと行い、安全の確保に努めるとともに、社会情勢の変化や地域の課題を踏まえ、市民の皆さまの声にも耳を傾けながら丁寧な説明に努めてまいります。
150	その他	パブリックコメントについて 今回パブリックコメントに付された事項について、特に「公共施設等計画」については、今後の地域及び住民の生活に直接影響を及ぼす重要な案件であり、丁寧な対応が望まれる。 私を含め、大半の市民は市の広報12月号の1ページをみて、そこから市のホームページを開いて、内容を確認するだろうか。スルーしてしまう市民が大半であろう(私の場合、知人からこの話を聞き、広報紙で確認した次第です。) まさか、この中に羽鳥と納場の2小学校統合問題が隠されてるとは夢にも思わず、知ってみれば、なぜこのようなことが、地域住民に対する説明会もなく、このような手順で進められようとしているのか、大いなる疑問であります。 多くの市民から意見を求めるという趣旨からすれば、最低限、全戸配布の広報誌を活用して、基本的な情報提供を行う必要があるだろう。今回の6項目についてはいずれも重要なテーマであり、広報誌上でそれぞれの概要、要点を紹介することによってパブリックコメントの実が上がることは確実と思われる。 行政主導ではなく市民参加のもとに、多くの市民の意見を積極的に反映させる趣旨からすれば、紙媒体を利用して直接情報提供をしていただくよう、場合によっては、広報誌の臨時特集号を発行する方法があつてよいと思う。 今後、そのような点を十分配慮されるよう希望します。	1	パブリックコメントの周知方法については、市ホームページや広報紙だけでなく、各庁舎に設置した情報掲載ディスプレイの活用や事案紹介動画の作成、配信などの新たな取り組みを実施したほか、閲覧場所の拡張や案内表示の設置など、情報発信の充実化を図っております。 広報おみたま、お知らせ版等での周知においては、紙面の都合上、複数ページにまたがる計画書の掲載が困難なため、事案名称や閲覧・手続方法を簡潔に掲載し、計画の詳細については市ホームページまたは各庁舎(本庁舎・小川総合支所・玉里総合支所)での閲覧をご案内することとしております。周知にあたっては、今後も市民の皆様に分かりやすい内容での情報発信を心がけてまいります。
151		重要案件がパソコン等、使用しないと見えないのはやめよう。	1	
152		広報紙の文面を見ると「パブリックコメント」など耳馴れないことばを強いて用いているが、重要なものであればあるほど平易な文章とすべきである。また羽小・納小の移転について一切書いてないことは大問題である。	1	「パブリックコメント」という制度の呼称は、全国の自治体においても広く使用されており、一般的にも認識されつつあることから、本市では「小美玉市自治基本条例」において正式に規定し、重要な事案(計画)等の策定にあたっては、本制度を運用しております。
153		パブリックコメントとはどんなものなのか今回初めて知る事が出きましたが、もっと多くの住民に知ってもらおうよう工夫をされてはどうかと思う。	1	耳慣れないことばとのご指摘につきまして、市ホームページや広報紙へ掲載する際には、パブリックコメントの制度趣旨、解説を合わせて掲載するなど、わかりやすい情報発信に努めておりますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

NO	意見の対象箇所	意見内容	意見数	市の考え方(回答)
154	その他	二次元コードが読み取れなかった。皆(20代、30代、40代、50代、60代、70代)、知らない話だと言っています。市が重要な計画や条例を策定する過程で市民に案を公表するために、二次元コードを使うのは、おかしいのでは。幅広い世代に公表すべきものが、そうでなくなっている見せたくないのかな？文書で誰が見てもわかる様にするべきなのではないでしょうか？(広報として考えて下さい。)	1	二次元コードについては、動作確認を実施したうえで広報紙へ掲載しておりますが、読み取りについて不具合等が生じることのないよう、引き続き確認を徹底してまいります。 市が重要な計画や条例を策定する過程で、幅広い世代の市民の皆さまに公表する手段のひとつとして、市ホームページ上で計画書(案)の全てを公開しており、二次元コードは、広報紙からでも市ホームページの掲載情報をスムーズにご案内するために活用しております。 また、案件の詳細につきましては、市ホームページ上での閲覧の他に、庁舎(本庁舎・小川総合支所・玉里総合支所)で閲覧する方法を取っております。
155		封筒にも入れずにこの様な大事な意見書を求めることに対して、おかしいと思います。	1	パブリック・コメントは、市が重要な計画や条例を策定する過程で、市民の皆さまに案を公表し、広く意見・情報・改善案を求める手続きです。 ご意見等がある場合は、指定の閲覧場所や市ホームページから意見提出書入手いただき、郵送、FAX、提案箱への投函または電子申請により提出することとしております。
		合計	294	